

おはなしあそび～お面作りから広がる活動の輪～ R5.1.23

繰り返し楽しんでいたお話をやりたいという思いからお面を作ろうとしたMちゃんどう作ったらいいか訪ねてきました。めろん組さんは劇をやったから聞きに行こうと提案すると恥ずかしがりながらもめろん組へ。

作り方を聞き早速作っていると次々にお友だちも参加してきてそれぞれが好きな動物を作り始めました。イメージしたものを描く子。本を見ながら描く子。お友だちが描いているのを見ながら描く子。と様々です。まだ役は決めずにやりたい子は役も楽しんでいました。



“もりのおふとん” 大きなお布団を前にすると一斉に集まり参加する子ども達。出てくる動物の順番や動きなどそれぞれが考え楽しんでいました。本を読み返したり楽しんだことを振り返りながら作りたいものが出てきた様子。一緒に楽しむお友だちに考えを伝えると賛同してくれたり新たな意見も出てきて興味や関心が沸いている様子が見られていました。



“てぶくろ” 大きな段ボールで手袋を作ると中に入りたい気持ちが溢れ大盛り上がり。順番に登場してやり取りも自然に楽しんでいました。何度でも繰り返し楽しみたい子どもたちの気持ちを大切にしながら遊びを振り返ると手袋の形が変化していることや話の流れや役が足りなかったりと気づきがたくさん。自然と思いを伝え合う場が出来ていました。

